

第13回全国高校生模擬裁判選手権 中部北陸大会 報告書

金沢弁護士会 北村 勇 樹

1 はじめに

令和元年8月3日(土)、第13回全国高校生模擬裁判選手権が開催されました。

本選手権の中部北陸大会の開催は今回で7年目を迎え、金沢での開催は昨年度に引き続き4回目となりました。

福井県予選を勝ち上がった福井県立大野高等学校、同藤島高等学校、同勝山高等学校、石川県から金沢大学附属高等学校と石川県立金沢二水高等学校、新潟県から新潟県立直江津中等教育学校の計6校（登録生徒数は計60名）が出場し、各校が検察側・弁護側各1回ずつそれぞれの立場から主張・立証活動を行いました。

2 大会の内容・結果

本年度は、万引き事案における窃盗の故意を問う内容で、被告人の行動等外形に現れた事情から窃盗の故意を推認し、あるいは当該推認を妨げようと、各対戦において熱戦が繰り広げられました。

対戦の結果、初出場ながら新潟県立直江津中等教育学校が優勝を勝ち取り、準優勝は福井県立大野高等学校でした。

毎年、文系理系等を問わず、様々な志望をもった生徒が参加してくれている本選手権ですが、今年も閉会式後に行った交流会がとても盛り上がりました。学校や地域の枠を越えて友情を育むとともに、お互いに各校の優れていた点などを認め合う姿があり、悔しい思いをした生徒も、チームメイトから励まされ、また他校との交流を通じて、リベンジに燃えていました。

3 おわりに

最後になりますが、本大会の開催にご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げますとともに、このような事業を継続していくため、今後とも、法教育活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上